真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	スポーツ推進活動支援事業	担当課・係	教育委員会　スポーツ振興課　指導係
政策名　No	1　「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	6　生涯スポーツ・レクリエーションの振興		

	名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
		単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
成果指標	何らかのスポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合	%	62.6					

事業内容

①スポーツ推進委員活動事業
スポーツ推進委員に関する規則に基づき非常勤職員として活動しており、委員の定数は30名以内で任期は２年とし再任を妨げない。スポーツ振興のため、住民に対しスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導、助言を行っている。スポーツ推進委員の各種研修会、講習会、大会等への参加のほか、スポーツの実技指導、スポーツ活動促進のために組織の育成を図ること、また様々なスポーツ行事または事業に関し協力することが、スポーツ推進委員の主な職務である。
②スポーツ協会補助事業
広く市民各層にわたる健全なスポーツ人口の一層の増大と競技力の向上を図るため競技スポーツを振興し、各専門部を中心に各種競技大会を開催し、市民ひとり１スポーツの実現を目指すと共に各種競技団体の育成強化に努めているスポーツ協会活動を支援する。
加盟専門部数（２５専門部）（軟式野球・陸上競技・卓球・ソフトテニス・弓道・バレーボール・剣道・柔道・相撲・サッカー・バドミントン・スキー・水泳・バスケットボール・空手道・テニス・ソフトボール・クレー射撃・ゲートボール・ゴルフ・少林寺拳法・サイクリング・グランドゴルフ・ダンススポーツ・スポーツ少年団）

前年度の課題（Check）

①スポーツ推進委員活動事業
委員の高齢化と人材不足が課題であり、令和８年４月の委員改選に向けて検討を行う。
②スポーツ協会補助事業
各専門部の役員及び会員の高齢化及び会員数が減少傾向であるため、各専門部でそれぞれ対応策を検討している。
また、学校部活動の地域展開におけるスポーツ協会の受け皿部分についての協議検討を進める。

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
①スポーツ推進委員活動事業
・委員会開催4回、定例会開催2回
・ニュースポーツ教室や体験会等の実施13回
・芳賀地区スポーツ・レクリエーション祭の開催
・先進地視察研修の実施
・真岡井頭マラソン大会他、市事業への運営支援4回
・各種研修会・講習会、体験会等への参加9回、その他各種会議への出席12回
②スポーツ協会補助事業
・県民スポーツ大会：開催16種目のうち14種目に出場(3位以上4種目)
・栃木県郡市町対抗駅伝大会：Aチーム12位Bチーム26位(全31チーム)
・県南五市総合大会：開催11種目のうち10種目に出場(3位以上4種目)
・芳賀郡市民スポーツ交流大会：全14種目に参加(3位以上13種目)
・優秀選手等表彰式開催(83名を表彰)
・専門部にてのスポーツ協会杯、市長杯等各大会を開催
・R8県南五市大会当番市開催準備

【２】結果と課題（Check）
①スポーツ推進委員活動事業
参加対象の事業等への推進委員の出席率が低いことと、全事業をとおして出席者に偏りが生じている。
参加委員への報酬を予算化していない事業もあり、委員へボランティアとして事業等への協力いただいている状況である。
②スポーツ協会補助事業
専門部の活動量にばらつきがあり、休部に至ってしまう専門部が増えつつある。(R7現在3専門部が休部中)

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
①スポーツ推進委員活動事業
・令和8年3月末日をもって委員の任期が終了するため、新たな委員の選出と委嘱の準備を進める。
②スポーツ協会補助事業
・令和8年度に当番市として開催する県南五市総合大会の準備を継続する。

(2) 長期的な計画で検討すること
①スポーツ推進委員活動事業
・各事業への委員の出席率向上を図る。
②スポーツ協会補助事業
・中学校における休日における部活動の地域クラブ化へ協力できる専門部の調査を継続する。